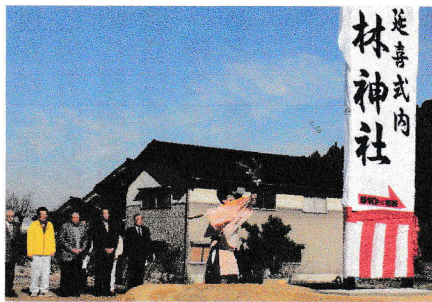


延喜式内

林神社の看板立つ

国道三五九号線頼成北交差点角に



受けお色直しをしたものです。これからは氏神様のご加護を受けた交通安全のお守りとして、

国道三五九号線頼成北交差点角に延喜式内林神社の看板が立てられ、三月十六日の春季例祭にあわせて神職のお祓いを受けお目見えしました。高さ約5メートルのこの大看板は、長い間公文名交差点に立てられていて、頼成の道しるべとしても親しまれていた島鮮魚店さんの立看板を譲り

縁世亭だより

今月は「明治時代、頼成からロシアへトド狩りに行った男の話」と題する席亭の話がありました



林貞吉。元治元年、公文名の林安右衛門の次男として生まれ、金沢、羽咋などの私塾に遊学したあと頼成に帰り、18歳から24歳まで訓導として、25歳から35歳まで校長として砺波各地の小学校の教壇に立ちました。明治36年、幸吉丸という船を借り切って仲間と共にロシア沿海州探検に出掛けました。書き残された詳細な記録に基づいて、スライドなどを交えながら探検旅行の様子が紹介されました。午後は阿弥陀経の朗誦と仏説観無量寿経の書写の第22回目を行いました。



当日は二日前に運び込まれたばかりの真新しい楽座椅子が並べられ、みなさん楽な姿勢で話が聞けたと喜んでおられました。

次回は4月18日(木) お花見昼食会です。詳細は別紙参照。第三水曜日ではありませんのでご注意ください。

また頼成のシンボル・道しるべとして末永くお役に立ち続けることでしょう。

齊藤一夫さん砺波市副市長に

頼成に二人目の市事務方トップ

四月の砺波市人事異動で川原常会の齊藤一夫さんが副市長に就任されることになりました。二〇〇七年吉田俊和さん(当時は助役・北明)以来、頼成地区としては二人目の市行政トップの誕生でまことにご同慶の至りです。

氏名	生年	年齢
林 久子様	平成二十四年四月一日	八十歳
高島 栄治様	平成二十四年四月一日	八十五歳
岡田 資治様	平成二十四年四月二十九日	七十九歳
林 宮子様	平成二十四年六月十二日	八十六歳
高島 外男様	平成二十四年十月二十二日	八十八歳
齊藤 志美子様	平成二十四年十月二十六日	七十歳
山清 幸市様	平成二十四年十一月九日	八十二歳
八田 二幸様	平成二十五年一月三十日	九十二歳
林 すみ子様	平成二十五年二月九日	九十歳
齊藤 太佐雄様	平成二十五年二月二十日	七十三歳
齊藤 幸雄様	平成二十五年二月二十五日	六十七歳

改めてご冥福をお祈り申し上げます

楽な姿勢で会合が

楽座椅子五十脚備え付け



このほどいかるぎ館に楽座椅子五十脚が備え付けられました。これは自治会総会で林正範委員長が、今年度の活動目標として掲げられた三つの重点の一つ、「いかるぎ館の利便性の向上を図る」施策の一環で、座ることの苦手な若い人達の会合や、足腰の不調を抱える人の多い高齢者の会合などにはたいへん有り難い設備です。



四月三日(水)から毎週水・土曜日の午後一時半よりいかるぎ館にて

老化とボケの予防、ルールはかんたん、楽しさまんたん。初心者歓迎みんなで気軽に楽しみましょう。

四月十八日(木) 祝日

お花見昼食会

やまぶき荘 会費千五百円

日程など詳細は申込み用紙付きチラシをご覧ください



四月十一日(木) 午後二時十五分

記念講演 講師

元砺波市教育委員長・景完寺坊守

瀬尾並木さん

おかしはなし おかしのはなし

昔話、暖まる話、こころをなぐ昔の話。自らの体験を通して熱く語られます。ぜひご来聴ください。

いかるぎ

著名な宗教学者の山折哲雄氏が『新潮』三月号に「皇太子殿下、ご退位なさいませ」という衝撃的なタイトルの論文を載せています。世が世ならば不敬罪で極刑にもなりかねない話で少し驚きました。山折氏といえば小泉純一郎元首相時代に「皇室典範に関する有識者会議」という公式の場でも意見を述べたことのある人です。その山折氏が皇太子様にご退位をすすめる、さらには弟の秋篠宮様への譲位にまで踏み込んだ発言をしているのです。

その理由として皇太子様が、公の存在としてよりもご自分の家族に精神的な重きを置かれていて、本来、皇太子として果たされるべき役割が十分でないこと、雅子妃が宮中祭祀に対して消極的で、将来、皇后となられることが宮中祭祀に対して違和感を持たれていられるとしたら皇室を去られるしかないことなどをあげています。

そして秋篠宮様が少しでも早くご高齢の両陛下に代わつて皇位につかれれば、両陛下の精神的・肉体的負担を和らげるだけでなく、さらには次の天皇となられる悠仁さまにも幼いころから帝王学を学ばせることができるという大きなメリットもあると述べています。日本国と日本国民統合の象徴である皇室の一大事。皆さんはどのように考えられますか。